

## 【田辺市】

### 校務DX計画

#### 1. 田辺市の校務DXに係る現状

本市では、令和2年度に校務支援システムの整備を完了し、市内小中学校で活用を進めています。また、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を受け、保護者連絡システムを導入するなど、学校内外のDX化を推進してきました。しかし、令和6年度の「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく自己点検の結果、多くの項目で全国平均をわずかに下回っており、今後、校務DXに向けた取組を推進する必要があると考えています。

#### 2. 校務DXに係る課題及び対応策について

##### (1) FAX・押印の原則廃止

自己点検の結果、「業務にFAXを使用している」や「業務で押印が必要な書類がある」といった学校が約85%という結果となりました。今後は各学校にてFAXの利用用途や押印が必要な書類をヒアリングし、メールに代替したり、クラウド上での決済に変更したりするといった対応を検討してまいります。

##### (2) クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進

自己点検の結果、全国平均を下回る項目が多くありました。今後、自己点検にある項目を中心に取組を検討したうえで、各校のICT担当教員と連携を図りながら、校務DXに向けた情報やデータの共有を進め、改善を目指します。また、ICT支援員による支援や教育委員会が主催する研修の実施等により、クラウドを活用し校務DXを進める学校の割合を増やしてまいります。

##### (3) 校務系及び学習系ネットワークの統合

教職員の働き方改革と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考えに基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じたうえで、校務系・学習系ネットワークの統合について調査研究を進めます。